

みんなの手できれいなまちに！

市内一斉清掃

6月3日(日)小雨の降る中、6月の環境月間に合わせて市内一斉清掃が行われました。各町内会(自治会)で集まり、道路や河川、公園などのごみを回収するなど各地域に合った清掃を行いました。

事前に届けを出していた地域は、グレーチングやコンクリートのふたを開け、土砂をかき上げたり、せん定した枝を巡回してきたトラックに積み込みました。



たくさんの住民が協力した一斉清掃ですが、空き地などに不法に投棄された冷蔵庫やテレビには、地域住民もがっかり顔。

家電リサイクル法が施行され、家電は資源として再利用されています。捨ててゴミにするのではなくリサイクルすることで、資源は有効利用できることをさらに、周知する必要があると感じました。

また、ごみの集積ボックスの扉が開けにくくなり不便だった吉川町の清水八反自治会では、一斉清掃を機会に自治会長に相談。ボックスの開け方のコツを指導されるなど、交流が図られました。作業を終えた参加者たちは「自分たちのまちがきれいになってうれしい」とすっきりした道路を眺め、気持ち良さそうでした。



これならできる！寝たきりゼロへ

寝たきり予防・介護予防及び認知症防止健康フェスタ

6月10日(日)、(社)生命の貯蓄体操普及会などが主催したイベントに、600人を超える参加者がのいちふれあいセンターに集い、健康について考えました。生命の貯蓄体操の「予防と健康づくり体操」としての普及活動に、多くの症状改善が認められ香南市でも積極的な活動をしています。この日は知事や市長、議員など行政関係者も参加。講演や体験発表、平均年齢74歳の会員たちが披露した術技などに「寝たきりにならんよう今からでもせんといかん」などの声が聞かれました。



術技を披露する高齢者の最年長は88歳！

日差しを浴びていきいき完歩

ごめん・なはり線沿線ウォーキング



6月9日(土)ごめん・なはり線の開業5周年を記念した沿線ウォーキングが行われました。この日は「のいち動物園の特別裏側探検とあじさい街道散策」の約8kmコースに、48人が参加。一行は午前10時にのいち駅を出発し、のいち動物園、大日寺そしてあじさい街道へと約5時間をかけてウォーキング。

参加者は「お天気も良く気持ちが良いです。きれいなアジサイを見るといやされます」と心地よい汗を流していました。

迅速で的確な人命救助を！

ごめん・なはり線救助訓練

5月23日(水)ごめん・なはり線での事故に備え、沿線の消防機関(香南・南国・安芸・中芸)がくろしお鉄道事業所と連携し救助訓練を行いました。訓練の現場となった安芸市の鉄道事業本部では「脱線した列車の内外に多数の負傷者が発生」と想定。参加した約100人の消防職員たちは本番さながら、負傷者の救出作業に当たりました。訓練後、職員たちは「住民に安心して生活してもらえるよう、あらゆる災害を想定し、さらに訓練を積んでいく」と身を引き締めていました。



懸命に訓練に取り組む香南市消防職員

いい汗かこう

野市ふれあい広場パークゴルフ場清掃

5月27日(日)野市ふれあい広場パークゴルフ場と周辺を同愛好会の会員たちが一斉清掃をしました。

オープン以来、手軽に楽しめるということで人気の場所になり、今後もたくさんの人に気持ちよくプレーしてほしいと集まったのは約70人。ウォーミングアップに全員で体操をし、石拾いや草引き、草刈や川の投棄ゴミの回収など、作業に精を出しました。会員たちは「パークゴルフは面白いし体に良いけど、掃除も運動になるし気持ちがいい！」と汗をふいていました。



作業の前に準備体操

おとなも夢中！

ヤ・シィパーク 第5回竹とんぼ大会



おんちゃんじょうずやねえ...

5月20日(日)夜須町のヤ・シィパークで5回目になる竹とんぼ大会が開催されました。「月見山こどもの森」や「岸本はたち会」などの主催で親子連れなど約70人が参加し、竹を削って作った自慢の竹とんぼで飛距離を競いました。砂浜では童心に返って熱中する大人たちとそれに負けじと竹とんぼを遠くに飛ばす子どもたちの姿も。この日の最高記録は距離の部で小学生が27.36m、一般では43.01mと、追い風に乘った高記録が続出しました。

森と川と海に感謝

物部川環境バスツアー



スタッフの話を熱心に聞く参加者たち

5月27日(日)物部川流域で森と川と海の結びつきを考える環境バスツアーが開催され、約130人の親子連れが参加しました。「物部川二十一世紀森と水の会」の主催で森(物部町)から海岸(赤岡町)までのポイントを順に訪ね、悪化している物部川の現状を学習。参加者は海岸の清掃などに汗を流しました。ゴールの赤岡海岸では地引網漁を体験。カー杯引いた網に、たくさんのウルメやサバゴが揚がる大歓声が起こり、その場で焼いた魚のおいしさに自然の恵みを実感していました。